

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	鑄造業における注湯作業解析サービスの事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	山梨大学 大学院総合研究部 教授 野田 善之

1. SCORE での活動目的

鑄造業における注湯作業は高温の溶融金属を鑄型へ注ぐ作業であり、鑄物品質に影響を与える作業であるが、定量的な評価手法が確立しておらず、注湯作業に起因する不具合の低減が困難となっている。この課題を解決するために、センサフュージョン技術を用いた注湯流量計測技術、および計測された注湯流量と鑄物品質の関係解析技術という技術シーズを用いたビジネスモデル仮説を策定するとともに、顧客ヒアリングを進めて、ビジネスモデルの現実化・高度化を図る。主に、鑄造現場での注湯作業計測システムの検証、および注湯流量と鑄物品質の関係解析の検証と注湯作業の評価手法に関する顧客ヒアリングに取り組む。

2. 総合所見

注湯作業解析サービスの事業化仮説に基づき検証を進め、注湯作業計測環境の無線化を実現し、事業化の実現性を高めている点を評価する。今後の新しい市場を開拓できるサービスであるため、対象となる顧客の分析を詳細に行い、経営人材とのチームアップも進めながら、事業化を実現することに期待する。

以上